SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 3 号

第 3 週(1月15日~1月21日)

発行年月日: 平成19年(2007年) 1月 26日発 行: 滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

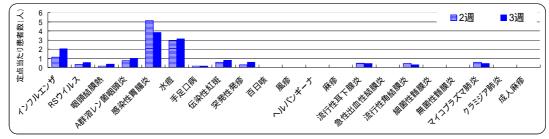
インフルエンザの発生は微増! 咽頭結膜熱の発生は増加傾向

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第 2週(1月 8日 ~ 1月14日)の報告数より多くなっています。増加した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)等です。減少した疾患は感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)およびマイコプラズマ肺炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

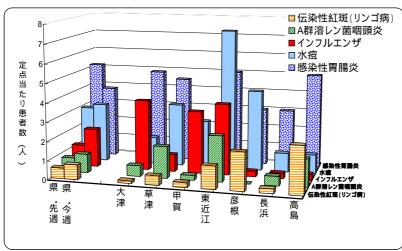
「感染症発生動向調査に基づ〈感染症の警報・注意報システム」によると、咽頭結膜熱、水痘 および伝染性紅斑(リンゴ病)に流行発生警報が発生しています。

全数把握対象疾患では、四類感染症のレジオネラ症 1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第3週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、伝染性紅斑の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は減少し、 インフルエンザが増加 しています。また、水痘は 東近江で非常に多くなって います。

インフルエンザの保健所管内別発生状況(平成18年第47~平成19年第3週、H18.11.20~H19.1.21)



平成19年第1週以降、各 保健所管内ともに増加傾 向を示しています。特に、 大津、甲賀および東近江保 健所管内で増加していま す。

警報·注意報発生状況

水痘の警報・注意報発生状況(平成18年第48週~平成19年第3週)

週	滋賀県		大津保	大津保健所		健所	甲賀保	健所	東近江伊	保健所	彦根保	建所	長浜保	建所	高島保	健所:
旭	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり)患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数
48週	2.34		2.00		1.00		0.75		3.40		7.25		1.50		0	
49週	2.47		1.43		0.17		1.00		6.80		5.50		1.50		1.00	
50週	3.66		1.00		0.83		1.75		9.80		6.75		4.25		2.50	
51週	3.13		1.14		0.33		2.00		10.20		3.75		2.50		3.00	
52週	4.25		3.71		1.50		0.50		8.60		10.25		2.50		2.50	
1週	3.78		3.86		1.50		6.25		8.00		4.75		0.25		0	
2 週	2.91		1.86		1.50		0.75		7.60		4.50		1.75		2.50	
3 週	3.13		1.43		3.33		2.50		7.40		4.25		1.00		1.00	

: 警報発生中 :注意報発生中 警報発生基準値 :定点当たり患者数が7人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が4人以下になるまで継続して出されます。 注意報発生基準値:定点当たり患者数が4人以上という基準値を超えた時に出されます。

伝染性紅斑の警報発生状況(平成18年第49週~平成19年第3週)

调	滋賀県		大津保健所		草津保	健所	甲賀保	健所	東近江伊	保健所	彦根保	建所	長浜保	健所	高島保	健所
旭	定点当たり	患者数														
49週	0.75		0.29		0.67		0.25		0.60		2.75		0		1.50	
50週	0.47		0.29		0.33		0		0.20		2.25		0		0.50	
51週	0.47		0.14		0.17		0		0.80		0.75		0		3.00	
52週	0.59		0.14		0.33		0		0.80		1.50		0		3.00	
1週	0.72		0.57		0.67		0		1.20		1.25		0		2.00	
2 週	0.56		0.43		0.50		0.50		1.00		0.50		0.25		1.00	
3 週	0.78		0.14		0.50		0.25		1.20		2.00		0.25		2.50	

:警報発生中 警報発生基準値:定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が 1人以下になるまで継続して出されます。

咽頭結膜熱の警報発生状況(平成18年第51週~平成19年第3週)

週 滋賀県		県	大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保信	建所	高島保	健所
旭	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数
51週	0.69		0.43		2.33		0		0.40		0		0.50		0.50	
52週	0.28		0.14		0.17		0		0.40		0		0.75		1.00	
1週	0.09		0.14		0.17		0		0.20		0		0		0	
2 週	0.13		0		0.33		0		0		0		0.50		0	
3 週	0.34		0.57		0.17		0.50		0		0		1.00		0	

:警報発生中 警報発生基準値:定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が0.1人以下になるまで継続して出されます。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

流行発生警報

流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという 情報を提供しています。

流行発生注意報

流行発生注意報という表現により今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、また は現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

1)全数報告の感染症(一類~五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている— ~ 四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき 医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた— ~ 四類および五類感染症を把握することができます。

		報告数		報告数	平成18年報告数			
感 染 症 類 型	疾 患 名		滋賀	全 国	T13% 10-			
		(3週)	(3週)	(3週)	滋賀	全国(*1)		
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0		
	コレラ	0	0	1	1	47		
二類感染症	細菌性赤痢	0	0	33	^(*2) 6	483		
	腸チフス	0	0	1	0	72		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	51	54	3,910		
	E型肝炎	0	0	2	2	70		
	A型肝炎	0	0	4	21	316		
四類感染症	オウム病	0	0	1	0	22		
四 积 芯 未 1止	デング熱	0	0	1	0	57		
	マラリア	0	0	0	0	61		
	レジオネラ症	1	1	21	11	508		
	アメーバ赤痢	0	1	32	8	738		
	ウイルス性肝炎	0	0	6	0	275		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	3	0	177		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	9	6	107		
│ │五類感染症	後天性免疫不全症候群	0	0	38	8	1,301		
五 积 忠 采 症	ジアルジア症	0	0	3	1	87		
	梅毒	0	0	14	4	625		
	破傷風	0	0	1	1	115		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	3	0	79		
	急性脳炎	0	0	3	1	160		

- *1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
- *2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第3週(1/15~1/21) -

一類感染症:報告なし 二類感染症:細菌性赤痢 三類感染症:腸管出血性 大腸菌感染症 四類感染症: つつが虫病	11例 20例 7例	五類感染症:アメーバ赤痢 梅毒 ウイルス性肝炎 髄膜炎菌性 髄膜炎	9例 7例 2例 1例	五類感染症:クリプトスポリジウム症 後天性免疫不全症候群 劇症型溶血性 レンサ球菌感染症 パンコマイシン耐性	1例 8例 1例
四類感染症: つつが虫病 レジオネラ症	7例 4例	髄膜炎	1例	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	1例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。 *疾患により定点数は異なります。

(1)疾病別·週別発生状況(平成18年第50~平成19年第3週、12/11~1/21)

(1)沃州加州西州完全人加(平)						公田に同じ		24.	`A L I	12=== 115	`
н д		当たり患		前週より増		前週と同じ		月U:		減少)
疾 患 名	50週	51週	52週	1週	2週	3週		,	週	,	·
	(12/11 ~)	(12/18~)	(12/25 ~)	(1/1 ~)	(1/8~)	(1/15 ~)	51	52	1	2	3
インフルエンザ	0.87	0.81	0.92	0.28	1.11	2.04					
RSウイルス感染症	0.22	0.22	0.75	0.63	0.31	0.53					
咽頭結膜熱	0.44	0.69	0.28	0.09	0.13	0.34					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.94	0.63	0.50	0.38	0.75	1.00					
感染性胃腸炎	19.53	14.72	8.66	4.94	5.13	3.81					
水痘	3.66	3.13	4.38	3.78	2.91	3.13					
手足口病	0.19	0.38	0.19	0.16	0.13	0.13					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.47	0.47	0.69	0.72	0.56	0.78					
突発性発しん	0.41	0.41	0.47	0.13	0.28	0.56					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0.00	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.50	0.50	0.44	0.50	0.47	0.41					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.29	0.14	0	0.29	0.43	0.29					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコブラズマ肺炎	0.71	0	0.14	0.29	0.57	0.43					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別·保健所管内別発生状況(第3週、1/15~1/21)

疾患名		定点	当たり患	計数(!	県·保健	上所管内	7別)		疾		生状況
大 本 口	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		(県全	体)
インフルエンザ	2.04	3.73	0.90	3.29	3.75	0.29	0.29	0.33			
Sウイルス感染症	0.53	0.14	0.50	0.25	0.40	0	0	5.00			
因頭結膜熱	0.34	0.57	0.17	0.50	0	0	1.00	0			
群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.57	1.67	0.25	2.40	0	0.50	1.50			
骆染性胃腸炎	3.81	4.86	4.50	0.50	5.00	3.00	3.00	5.00			
K痘	3.13	1.43	3.33	2.50	7.40	4.25	1.00	1.00			
手足口病	0.13	0	0	0	0.40	0	0	1.00			
云染性紅斑(リンゴ病)	0.78	0.14	0.50	0.25	1.20	2.00	0.25	2.50			
突発性発しん	0.56	0.57	0.67	0.25	0.40	1.00	0.75	0			
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0			
虱 しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0			
ヽルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0			
床しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.41	0	0.50	0	0.60	1.00	0.25	1.00			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
充行性角結膜炎	0.29	0	0	0	1.00	0	1.00	0			
田菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコブラズマ肺炎	0.43	0	0	0	0	0	3.00	0			
フラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0			

定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)











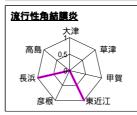


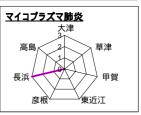












今週の発生状況:保健所管内別定点当たり患者数

A群溶レン菌咽頭炎---- 東近江で先週よりかなり増加しています。

水痘------草津および甲賀で先週より増加し、東近江および彦根では先週に引き続き多い 状態となっています。

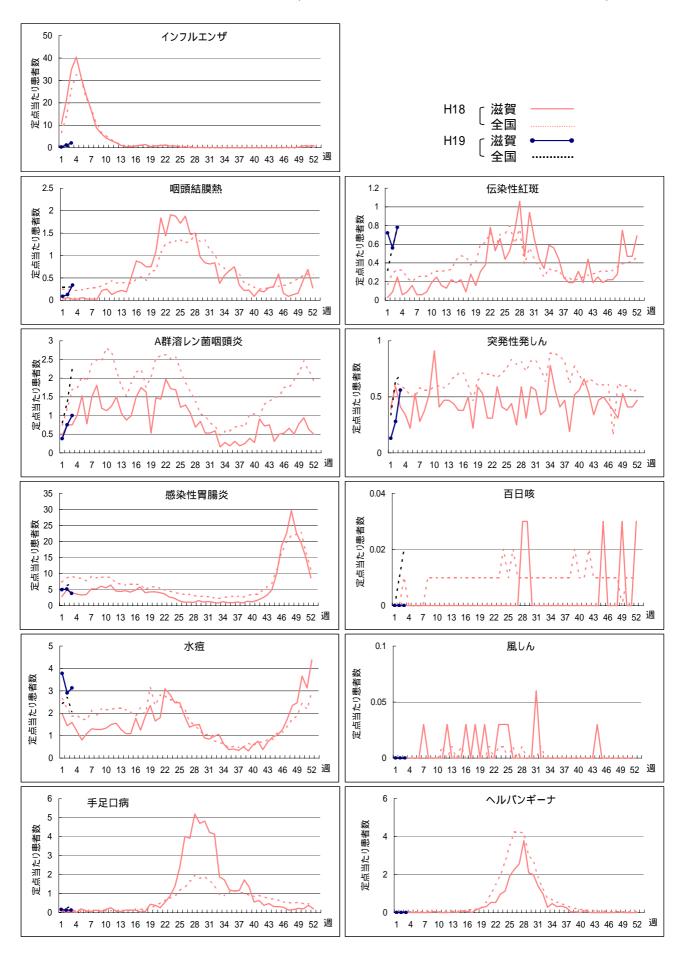
手足口病------先週とほぼ同様の発 生状況です。

伝染性紅斑-----東近江、彦根および高島で先週より増加し、彦根および高島では流行発生警報

が発生しています。

マイコプラズマ肺炎----長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週~第3週、H19.1.1~H19.1.21)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週~第3週、H19.1.1~H19.1.21)

